

東海第二発電所 雑固体減容処理設備冷却室内での発煙について

当社、東海第二発電所は定格熱出力一定運転中（沸騰水型軽水炉：定格電気出力110万kW）のところ、本日、6時35分ごろ、増強廃棄物処理建屋（発電所構内）雑固体減容処理設備冷却室内で発煙が確認されました。6時46分に消防署へ通報するとともに、自衛消防隊及び6時55分ごろに到着した公設消防隊による確認が継続されています。発煙の原因は調査中です。

現在の発電所の状況は以下のとおりです。

1. 原子炉施設等の状況
 - ・ 現在、定格熱出力一定運転中で発電を継続中です。
 - ・ 増強廃棄物処理建屋は、原子炉の運転に影響を与えない設備であることから、安全に運転を継続しています。
2. 周辺環境への放射能の影響
 - ・ 放射能の漏えい等は発生しておりません。
 - ・ モニタリングポストなど、環境放射線モニターの指示の変化はなく、外部への放射能の影響はありません。
 - ・ 今後も引き続き監視してまいります。
3. 冷却室内の状況
 - ・ 冷却室内に煙が充満していますが、火は確認されていません。また、当室内は、負圧維持及び耐火構造になっているので、外部に影響を与えるものではありません。
4. 今後の対応
 - ・ 増強廃棄物処理建屋から発生した発煙の原因など、消防署等の調査に協力してまいります。また、原因等状況がわかり次第随時お知らせいたします。

以 上

添付：雑固体減容処理設備の概要

雑固体減容処理設備の概要

